



Rio -Rainbow Gate!

リ
オ
レ
イ
ン
ポ
ー
ゲ
ー
ト

GUIDEBOOK



“勝利の女神”があなたを笑顔でお迎えます!

ハワイード リゾートへようこそ



INTRODUCTION

抜けるような青空とどこまでも広がる海、その間をまっすぐ走り抜けるハイウェイの先にあるのが「ハワイードリゾート」。ゴージャスなホテルと数々のアトラクション施設、なにより巨大なカジノを擁したこの場所には、世界各地から大勢の観光客がやって来る……。そして、この「ハワイードリゾート」最大の売りが、凄腕ディーラーのリオ・ロリンズ。キュートな笑顔とナイスパティで、カジノのフロアを沸かせる彼女の別名は“勝利の女神”! しかも、彼女の前には次々と勝負を挑む敵が現れて……。手に汗握る興奮とスリル、そしてお色気をちよっぴり織り交せて、リオたちの賑やかな日々が今、幕を開ける!

Rio RainbowGate!

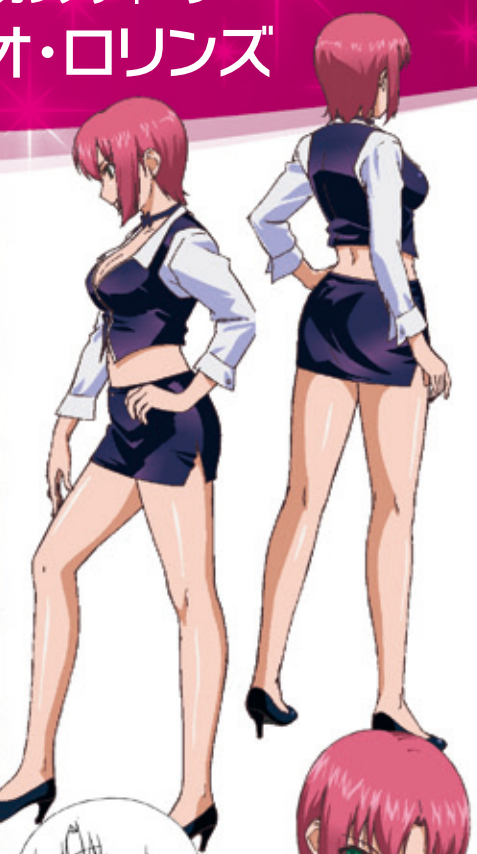
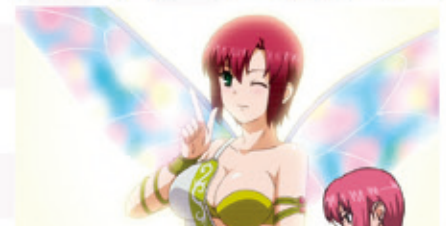
レイ
ン
ボ
ウ
ゲ
ー
ト
ホ
ー
テ
ル



Rio

CV:井上麻里奈

セクシーでキュートな
人気カジノディーラー
リオ・ロリンズ



ホテル「ハードリゾート」の人気ディーラー。彼女がホールに降臨すると、それだけで空気が変わり、幸運が舞い込むことから「勝利の女神」の二つ名で知られている。とはいえ、その腕前はまだまだ発展途中。ディーラーとして最大の名誉とされる「MVCD(Most Valuable Casino Dealer)」の称号を目指して、今日も修行中!



魔法少女から着ぐるみまで! リオの七変化に注目!



オーナーからの命令で(!?),さまざまなコスプレ衣装を披露してくれるリオ。ボディコンシャスなセクシー衣装から「そんなのアリ!」な着ぐるみまで、魅惑の七変化もお楽しみなのだ。



リオの幼なじみにして、リオの母・リサの一番弟子。つねに冷静沈着に場を見極め、最適な手を打つ実力派ディーラー。仕事でハードリゾートを訪れ、徐々にリオと再会を果たすものの、なぜか、リオに対して複雑な気持ちをいだいている様子。「Rio RainbowGate!」のストーリーの鍵を握ることになるヒロインだ。

つねに冷静沈着な
リオの幼なじみにして
ライバルディーラー
リナ・タチバナ

CV:たかはし智秋
Rina

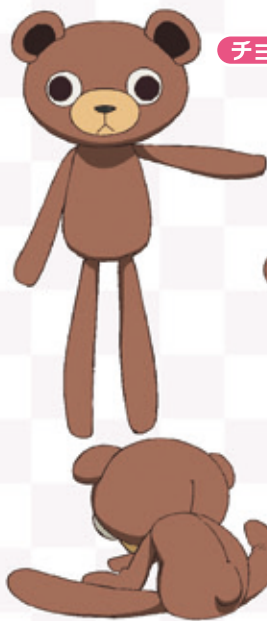


Mint

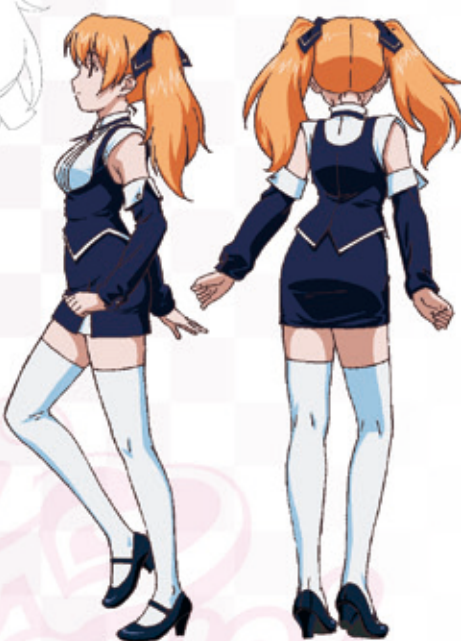
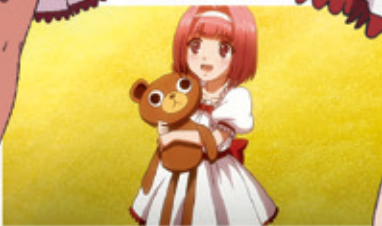
リオに夢中な
おませな女の子
ミント・クラーク

CV: 竹達彩奈

カジノの常連客であるMr.クラークに連れられて、ハードリゾートを訪れた女の子。世話係を担当することになったリオの優しさに触れ、彼女の一番のファンになる。性格は、いつでも元気いっぱい。でもときどき大人っぽい発言をすることもある。チョコは、彼女のお気に入りのぬいぐるみ。



チョコ(クマのぬいぐるみ)



一流のディーラーを目指して、ロシアからやって来た少女。ハードの命令で、リオについてカジノの修行に励むことになる。ディーラーとしての腕前は、すでにかなりのものだが、問題は天性のドジ。あちこちぶつかったり、グラスをひっくり返したり……と、今日もドジっぷりを発揮しては、リオたちを呆れさせている。

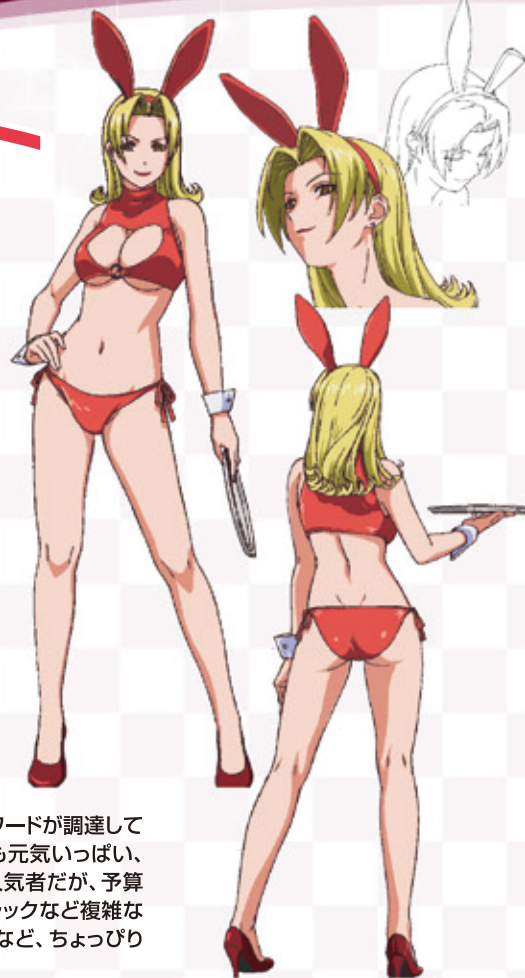
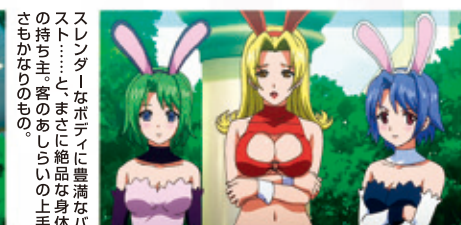
ロシア生まれの ドジっ子見習いディーラー アーニヤ・ヘルシング

CV: 福井裕佳梨

一番人気のバニーガール

ティファニー・アボット

CV: 中島沙樹



ハードリゾートで働くバニーガール。もともとは女優志望だったらしく、その美貌に見惚れてしまう客も多数。彼女を目当てに、リゾートに通ってくるゲストも後を絶たないほどらしい。リオのことを昔からよく知っており、彼女の悩みの相談に乗ったりと、優しく見守ってあげる、頼れるお姉さん的存在でもある。



おっちょこちょいなディーラーロボ リンダ (LINDA-R-2007)

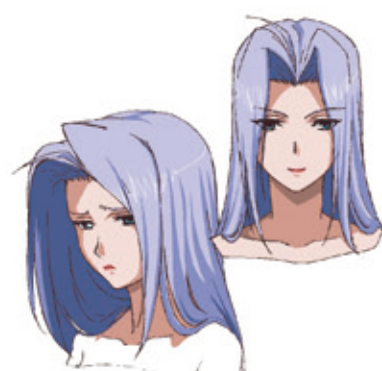
CV: 日笠陽子



カジノの新たな呼び物として、ハードが調達してきたディーラーロボット。いつでも元気いっぱい、明るい笑顔でカジノを沸かせる人気者だが、予算をケチったおかげで、ブラックジャックなど複雑なゲームのルールが覚えられないなど、ちょっぴり残念なところも……。

コクビット用

背中に接続部を持つドックスーツに身を包んだリンダ。直接、機械に接続することで、ヴァーチャル投影装置を操作することもできる。



ワインレッドのドレスに身を包み、妖艶な魅力を振りまくローザ。見た目は裏腹に、意外と優しいところもある大人の女。

ハードリゾートの滞在客。仕事のストレス解消に、カジノに足しげく通うハリウッド女優。大人気テレビシリーズ『賞金首』で、ピンキー・ダイアン役を代演し、一躍有名スターの仲間入り。リオの母、リサ・ロリンズとは古くからの知り合いで、その縁もあってリオが小さな頃から、彼女の面倒を見ている。大人の色気を感じさせる美女。

リオを昔からよく知るハリウッド女優

ローザ・キャニオン

CV: 清水香里



手品師？ それとも魔法使い？

ダーナ

CV: 茅原実里

リゾート内で「ダーナシアター」というステージを担当する、凄腕マジシャン。ときどきリオたちの前に現れては、アドバイスを与えることも。古くからのゲームファンのなかには「見覚えがある」という人もいる？

メインを張る「ダーナシアター」は、リゾート内の人気スポットのひとつ。エキゾチックな雰囲気の中、マジックを楽しむ。十八番のイリュージョンは「72の魔神」だ。



柔和な笑顔を浮かべたリオの母・リサ。リオの優しい性格も、もしかするとこの伝説の母親譲りなのかもしれない？



巧みな人心誘導能力“ロールルーラー”の使い手であることから「ダブルアール」の二つ名を持つ。リオの母親にして伝説のディーラー。おっとりした天然ボケの性格で、小さな頃のリオを置き忘れてしまったことも！

伝説の“ダブルアール”

リサ・ロリンズ

CV: 井上喜久子

カジノに目がない大富豪

Mr.クラーク

CV: 長 克巳

リゾートに長期滞在する老紳士。ミントの祖父で、オーナーのハワードとは旧知の縁。その関係で、ミントの世話をリオに頼んだところから物語の幕が開く。一見、温和そうに見えるが、裏では怪しげな動きも……？



立派なアゴ髭と白髪、ピシッと決めた燕尾服……と、お金持ちな雰囲気も漂った紳士。孫娘のミントが可愛くて仕方がない様子。



リゾートの名物オーナー

トム・ハワード

CV: 石井康嗣

リゾートを経営する、自称“ホテル王”。成金趣味で、ちょっぴりスケベ。リオにさまざまなコスプレをさせて、ホテル&カジノの集客力アップをねらっている。面白ければなんでもオッケー、という豪快な性格。



ガッハッハという笑い声が、今にも聞こえてきそうなハワード。くわえた葉巻と大きな蝶ネクタイがトレードマーク。



ドングリ眼と分厚い唇、そして立派な髭。エキセントリックなキャラクターが続々登場する「Rio」のなかでも、とびきりユニークなひとり。

リゾートの滞在客(?)のひとり。アフロをチョンマゲ状に縛り、紫色の着流しにサイコロのネックレス……という、なんとも胡散臭い格好。そのせいで、とある事件では犯人に勘違いされてしまうのだが……？

謎のアフロサムライ？

カルロス田中

CV: 岸尾だいすけ

INTERVIEW

リオは働いて、生活している 生きているキャラクターなんです

原作 原尾宏次 プロデューサー
監修 原尾宏次 インタビュー 前篇

コーエーテクモのキャラクターとして圧倒的な人気を誇る『Rio』。今回のアニメ化に際して、どんな思いを込めたのか。『Rio』シリーズの育ての親に、制作の舞台裏を徹底的に聞く！

Profile

Koji Harao



株式会社コーエーテクモウェア取締役。テクモのパチンコ・パチスロ事業の立ち上げスタッフの一人で、「ばくばくBANK」、「ほっかほっか銭湯」、「モグモグ風林火山」、「お茶の間劇場」、「アントニオ猪木」という名の「パチンコ機」等、多数の企画を担当。「Rio」ではストーリー作りを担当している。

——原尾さんは「Rio」の原作サイドのプロデューサーとして、今回のアニメ制作に参加されているわけです。まず最初に、今回のアニメ化にいたるまでの経緯をお聞かせいただけますか？

じつはこれまでも何度か、アニメ化のお話をいただいているんですよ。ただ、「時期尚早だろう」ということで、ずっとお断りしてきたんです。実際、「アニメ化すると原作と全然別物になってしまった」みたいな話をよく聞き、私たち自身にも、アニメ制作に対する知識があるわけじゃない。「怖いな」というのが正直なところだったんです。

——「Rio」の持っている世界観、イメージが崩れてしまうのは、ちょっと違うんじゃないか、と。

ただ、2009年にコーエーとテクモが経営統合してコーエーテクモになったんですけど、コーエー側では『ネオ アンジェリーク』や『遙かなる時空の中で』などのネオロマンスシリーズで、これまでに何度もアニメーションを作ってきた経験があったんですね。アニメーション制作というのがどういうものなのか、ある程度、わかっていたんです。逆にいえばわかった以上は——もちろん、もともとアニメ化したいと思っていたわけですから、これは機が熟したのかな、と。

——なるほど、それで今回のアニメ化にいたるわけですね。

で、実際に制作が始まる前に、どういう方向にしましょうか、というお話をさせていただく機会があったんですけども、そのときこちらから「Rio」に関する資料をいろいろとお渡ししたんですね。すると「あれ、こんなにストーリーがあるんですか？」と(笑)。

——しっかりしたバックグラウンドがあることに、驚かれたわけですね(笑)。

テクモがパチンコ・パチスロを始めたのは1999年頃になるんですけども、その頃はまだ、萌えパチ・萌えスロなんてものは存在していない時代だったんです。そういう状況のなかで、もともとビデオゲーム、テレビゲームをやっていたグラフィッカーの人たちに仕事をしてもらうには、なんらかの説得材料が必要だった。「我々が作っているものは、ゲームよりもスゴいものなんだ」と、言わなければいけない時代だったんです。もちろん、わたし自身にも「いいものを作りたい」という気持ちがありましたし、彼らのモチベーションを上げるためにも、細かな設定を作り込んで、絵を描いてもらっていた——その流れがずっと続いてきたんです。それこそ最初に、アニメ制作の方々にお渡しした資料のなかには、リオの母親、リサ・ロリンズの若い頃の話があったりする(笑)。それを見て「なんだこりゃ！」みたいな(笑)。

——あはは(笑)。キャラクター同士の繋がりが多かったり、しっかりと用意されていた。もともと原尾さんご自身、そういうものが好きだったんですか？

そうですね(笑)。実は「ゲームマガ」さんで5年くらい「Rio」のページを連載させていただいていたんですが、それを担当しているのは私で(笑)。だから「Rio」の設定だったり、ショートストーリーを書いているのは、じつは私なんです(笑)。もうテクモに入って20年ほど経っちゃってるんですけど、若い頃にはやっぱり、マンガ家になりたいとか、恥ずかしい黒歴史を持っている人間で(笑)。しかもテクモに入ってから10年くらいは、ずっと広報・営業畑だったんですよ。だから、いざ自分が制作する側にまわったら、絶対にいいものを

作りたい。セールスポイントが明確で、キャラクターも強くて、ゲーム性も新規性に富んでいる。そういう作品が作りたくな、と。

——そういう思いが「Rio」に結実しているわけですね。

テクモが参入した頃のパチンコ・パチスロというのは、それこそチョコエッグ以前というか(笑)、一部のモノを除けば「絵は、あればいい」というタイトルがほとんどだったんですね。当然、フルアニメではないし、キャラクターに名前があったり、設定が揃ってるなんて作品はなかったんですよ。「ないもの」をやれば、当然セールスポイントになるはずだ、と。強いていえば、『海物語』のマリンちゃんや『ダンスダンス2』のレミがもうすでにデビューしていたので、リオやその先輩にあたるギンコちゃんが最初の萌えパチ、萌えスロではないんです。ただ、明確な目的を持って、キャラクターに集中してやろう、としたのは当時のテクモがたぶん初めてなんじゃないかな、と思います。

——なるほど。そういう意味では、アニメ制作側にも理解してもらわなければいけなかったわけですね。

「最初に監督にお会いしてお話させていただいたのは、Rioというのは働いている女の子なんです、と。働いて、給料をもらって食べているキャラクターで、霞を食べて生きてるのは違う。生活がちゃんとあって、周りの友達とか人間関係もしっかりある。とはいえ加戸監督は『武装錬金』を初めとして、しっかりした作品を作られている方ですし、実際にお会いしてもすごく真面目な方なので、『Rio』に正面から向き合っていたら、本当によかったなと思いますね。

せーん！おまかせ！



らびらび Rainbow Gate!

らびらび Rainbow Gate! 公式サイト
<http://rionarainbowgate.com>

♡放送情報♡
2011年1月4日(火)より放送又々！

TOKYO MX 2011年1月4日より毎週火曜 23:00~
テレビ愛知 2011年1月5日より毎週水曜 26:28~
毎日放送 2011年1月6日より毎週木曜 25:55~
BS11 2011年1月7日より毎週金曜 23:00~
AT-X 2011年1月8日より毎週土曜 8:30~ / 22:30~
(毎週水曜 14:30~ / 26:30~)

ニコニコ動画 2011年1月より
配信スタート!
<http://ch.nicovideo.jp/>

STAFF

原作: コーエーテクモゲームス
監督: 加戸誉夫
シリーズ構成: 関島眞賴
キャラクターデザイン: 寺科 久
アニメーション制作: XEBEC
製作: ハドソン・ゲーム開発グループ



ひとときの夢と幸せを味わうために、世界中からゲストが訪れるホテル「ハワードリゾート」。数々のアトラクション施設のなかでもカジノが一番の目玉だが、見るべきものは決してそれだけじゃない！ 美しい浜辺からは巨大なルーレットが現れ、かと思えば、丘陵地の真ん中には豪華なディスクシュート場が出現。訪れる人を驚かせる仕掛けが、あちこちに用意されているのも、このホテルの自慢のひとつなのだ。そしてもちろん、そこで繰り広げられるのは、リオとライバルたちによる丁々発止のカジノバトル。世界に13枚あるという「ゲート」と呼ばれるカードをめくって、各地から集まったディーラーたちが、見た目はユーモラスだが、本人たちはいたって真剣な、「ゲートバトル」を展開するのだ。また、ストーリーの中盤からはオーナーのハワードが新たに建造中のホテル「スカイリゾート」に舞台を移し、バトルの内容はさらに予想のつかないものに……。その奇抜なバトルの数々も、見逃せないポイントだぞ。

ウェディングドレス姿のリオ

チャペルでの勝負にあわせて、花嫁姿に大変身！ 毎回、バトルの内容に合わせたコスプレを見せてくれるのも見どころ。



めくるめく カジノバトルの世界!

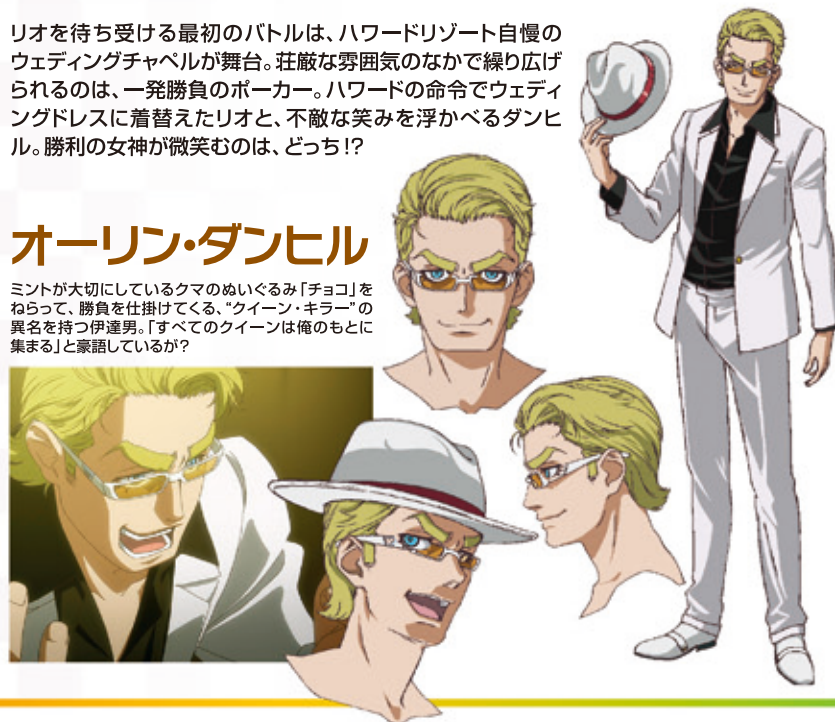
リオを毎回待ち受ける、奇想天外なバトルの数々も本作の見どころのひとつ！
真剣勝負のポーカーから巨大ルーレット、果ては予想の斜め上を行くゲームバトルまで、常識外れの舞台上で繰り広げられる手に汗握るバトルから、もう目が離せない!

ウェディングチャペルでいざポーカー勝負!

リオを待ち受ける最初のバトルは、ハワードリゾート自慢のウェディングチャペルが舞台。荘厳な雰囲気の中で繰り広げられるのは、一発勝負のポーカー。ハワードの命令でウェディングドレスに着替えたリオと、不敵な笑みを浮かべるダンヒル。勝利の女神が微笑むのは、どっち!?

オーリン・ダンヒル

ミントが大切にしているクマのぬいぐるみ「チョコ」をねらって、勝負を仕掛けてくる、「クイーン・キラー」の異名を持つ伊達男。「すべてのクイーンは俺のもとに集まる」と豪語しているが?



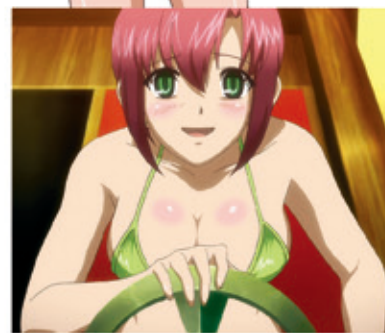
ビーチから突如、巨大ルーレットが…!?

ハワードリゾートのなかには、従業員でさえも知らないような驚きの仕掛けがいっぱい！ この巨大ルーレットは、リゾートにある浜辺の地下に設置されているもの。必要に応じて、地下から出現する仕組みになっているのだ。また使用するルーレットの玉は、台のサイズにあわせてボウリングのボールほどの大きさ……という常識外れな台。

ルーレットというよりはむしろボウリング? 途中でボールの経路が変化する仕組み。



浜辺での勝負ということで、水着姿のリオも登場。セクシーなボディに見とれちゃう……?

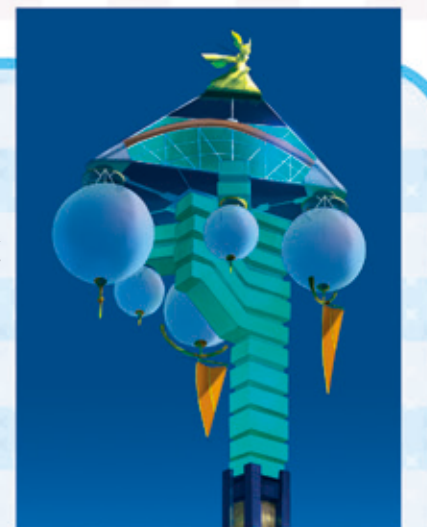
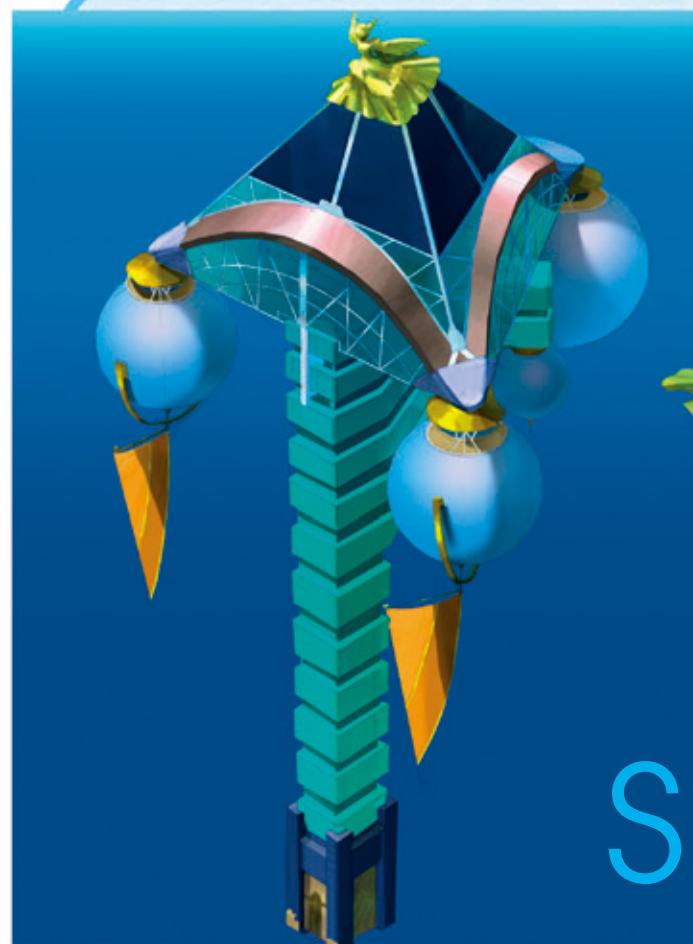


エルビス

美女を何人も周囲にはべらし、囃突とスポーツカーを乗りまわすキザ男。リオと同じく「ゲート」保持者のひとり、リオにゲートバトルを挑む。

巨大な傘のようにも、また異世界の建造物のようにも見える「スカイリゾート」の外観。地震が来たら、一発で倒れてしまいそう……?

下から見たスカイリゾートの様子。頂上のピラミッド部分には、巨大な天使のエンブレムが。ホテルの常識をくつがえすかのような、贅を尽くした最新ホテルだ。



ハワードリゾートが新たに建造中のホテル&アミューズメント施設が、この「スカイリゾート」。名前の通り、中空に浮かんだその姿は、まるで近未来からやってきた巨大なピラミッド。これまでにない最高の眺めをゲストに提供するだけでなく、リゾート内にはさまざまな最新アトラクションが用意されているのだ。これ以上、奇想天外なバトルにぴったりな場所はない?

宙に浮かぶ魅惑の新名所

Sky Resort

スカイリゾート



ミザリィの館のなかに設置されたカジノルーム。壁にかけられた絵画や年代物の明かりが、館の歴史を物語る。

古びた洋館で待つものは…?

ハワードリゾートの一角にある古びた洋館。そこを訪れたリオたちは、屋敷のなかで不思議な体験をすることに……。ちょっぴりホラーチックな舞台上で繰り広げられるのは、いったいどんな勝負？ そして館の主人との戦いの行方は？



ミザリィ

ハワードリゾートの隅にある洋館の主人。血のように真っ赤なドレスと、足元まで延びた白髪……。いかにも不気味な印象を残すが、はたしてその正体は？



ブル・ハード

保安官の格好をした謎の人物。たびたびリオたちの前に姿を現すが、その目的は不明。どうやらカルティアと関係があるようなのだが…？ コイントス勝負が得意。

銃の腕前を競ってセクシーディスクシュート!

広大な敷地が広がるハワードリゾート内には、こんなステキなディスクシュート場もあり！ 巨大なバックスクリーンには、競技中のプレイヤーたちの表情が克明に捉えられ、競技の行方を中継してくれるのだ。ここで戦うことになるのは、カウボーイ姿に扮したリオとリナ。はたして、射撃の腕前が上なのはどっち？

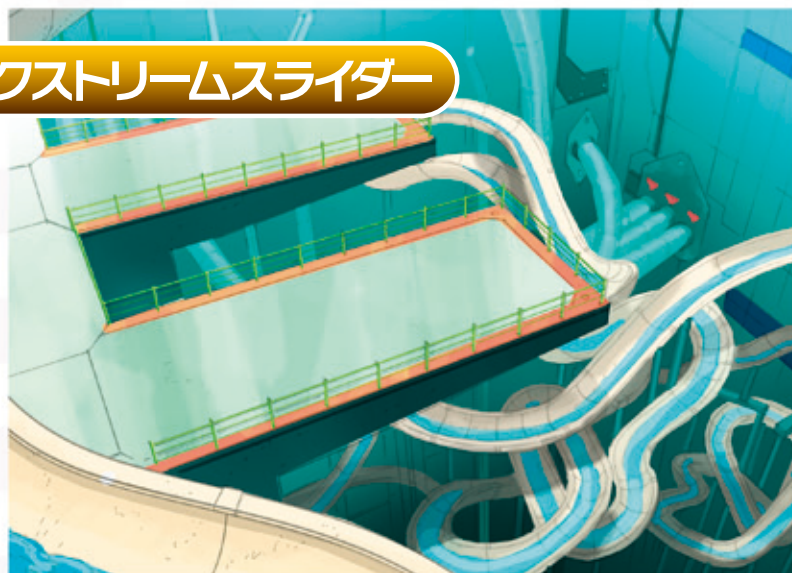
切り立った崖に突如、姿を現すディスクシュート場。イベント好きのハワードらしい大仕掛けだが、ここでリオとリナは銃の腕を競うことに…!?



滑り始めたら止まらない! エクストリームスライダー

リゾートホテルといえば、やっぱりプール! そして爽快感たっぷりの水流スライダー! というわけで、ハワードリゾートでは、もちろん興奮度抜群のスライダーを完備。しかも、どちらが早くゴールにたどり着けるか、勝負までできちゃうというのだから、驚きなのだ。複雑に分岐するルートをうまく制御して、リオは勝負に勝つことができるのか？

複雑にパイプが分岐して、上に行ったり下に行ったり、スリル満点のスライディングが楽しめちゃうぞ。



カルティア

リオの持つ「ゲート」をねらって、次々と刺客を送り込む、妖艶な雰囲気漂わせた女性。正体は謎に包まれているが、どうやらリナとなにやら縁がある人物である様子……。

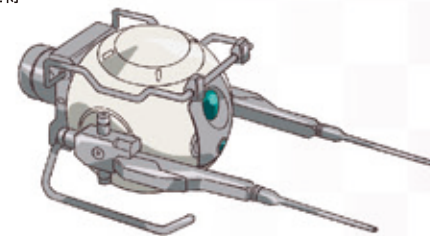
ジャック・マイティ

カルティアにより送り込まれた刺客のひとり。スペースピンボールで、リオに勝負を挑む。一族に伝わる不思議な力「マイティ・パワー」でリオをピンチに追い込むが……。「半ズボン」を指摘されるのがイヤという少年らしい一面も。

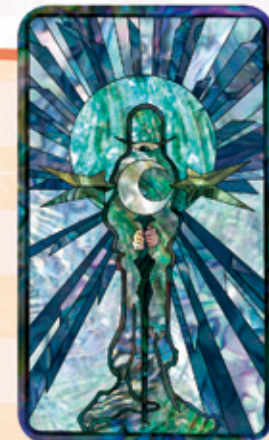


スカイリゾートが誇る最新設備のひとつである、ホログラムシアター。さまざまなシチュエーションを体験できるこの施設でも、リオは勝負に挑むことになる。そのモチーフとなるのは、なんと大宇宙! しかもどこまでも広がる無限の空間で繰り広げられるのは、ピンボール勝負。いったいどんな展開が待ち受けているのか? セクシーな宇宙服姿のリオも見逃さないぞ。

ホログラムシアターで上演中の、スペースピンボールゲームのプレイヤー機。ターゲットに体当たりして得点をあげるため、球形の機体になっている。



スペースピンボールに登場する宇宙サメ。ステージ中を泳ぎまわり、プレイヤーの邪魔をする。顔つきがなんとも凶悪!



世界中のカジノにディーラーを派遣する巨大組織カジノギルド「ICDG」から発行された、13枚のカードのこと。このカードを持つ者は「ゲートホルダー」と呼ばれ、13枚をすべて集めると最強ディーラーの証である「MVCD」の称号が与えられる。リオの母・リサも「MVCD」のひとり。

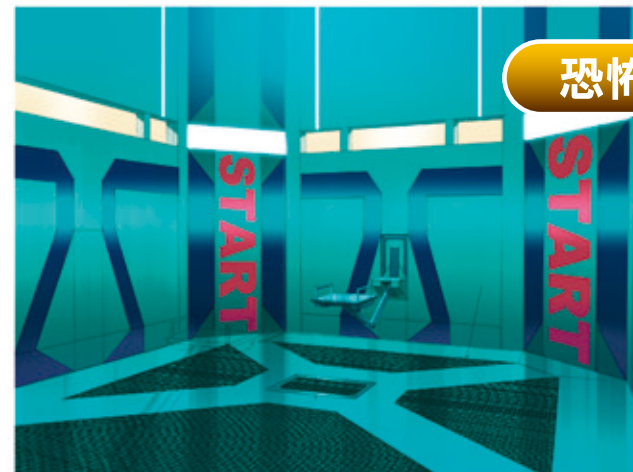
世界に13枚存在する「ゲート」の秘密



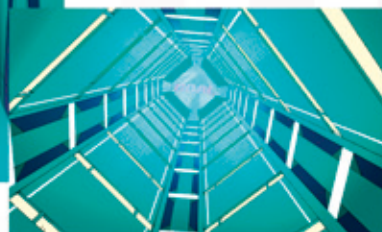
スペースピンボールで勝負!

恐怖のスカイジャンピングシューティング!

スカイリゾートを縦に貫く全長400メートルの空間。この巨大な空間も、ゲーム用に設置されたもの。足元の床から強烈な風が吹き上げ、その勢いに乗って頂上のゴールを目指すという、まさにスカイリゾートでしか体験できないアトラクションなのだ。コースの途中に設置された標的をビームピストルで射撃し、ひとつでも多く当てた方が勝ち。



スカイジャンピングシューティングのスタート地点。足元のメッシュ状になった床から強烈な風が吹き上げ、その風圧を使って、プレイヤーは頂上を目指すことに。



どこまでも縦に伸びる巨大な空間。無重力を擬似的に体験できる、驚きのアトラクションだ。

アダムス先生、さようなら

隠れ人気ナンバーワンキャラクター・イルの秘話が今!

こんにちは、アダムス先生。
私、イルです。施設でお世話になった双子の妹の方です。
いきなりの手紙でびっくりされましたか?
私は今、姉のエルと一緒に、カジノ「ハードリゾート」で働いています。そう、ニュース・ネットでも話題になったアレです。島ひとつをまるごとカジノに改造した歓楽島、上院の良識派議員さんたちが反対運動していましたよね。私たち、双子のバニー美少女とか呼ばれて、お客様には評判がいいんですけど、議員さんには、ひどいことを言われて生卵をぶつけられたりしました。

長いこと、先生とは連絡をとっていなかったのに、今更こんな手紙を出すのもどうかと思ったのですが、最近、ものすごく大事なことがあったんです。

これだけは先生に報告しておかないといけませんって筆をとりました。あ、筆というのはアジアの筆記用具です。施設の柵にペンキを塗りなおすのに使った刷毛に似ています。

もっとも実際は普通のペンで書いてます。これは高度な言い回しってやつなんです。

先生……ひょっとして、イルじゃなくてエルの



方じゃないかって疑ってます?

明るくおしゃべりなエルと違って、私は無口で愛想がなかったから、文章だとしても、こんなに書き連ねるのはイメージに合いませんよね。

ふふふ、私、施設にいた時も、頭の中ではいろいろと考えてたんですよ。

でもグルグルと考えが回りすぎて、喋りがついていけないんです。逆にエルの方はあまり考えずに喋ってるんじゃないかな。いえ、それが悪いってわけじゃないです。彼女は感受性が強くっていっぱい感じるから、考える時間があったいなんでしょ。

私は逆にちょっと鈍いので、沢山考えてから喋らなくちゃいけないんです。

そろそろ本題に入らないとですよ。

私の同僚にリオってディーラーの女の子がいるんです。

先生に見せられないのが残念なくらい綺麗な子です。ボディの方も貧弱な私と違って、それはそれは凄いですよ。殿方好みのコンパクトグラマーってやつですね。

でも、リオの一番良いところは明るさです。太陽を呑みこんだんじゃないかと思うくらいにエネルギーに満ち溢れていて、彼女のそばにいてだけで幸せな気分になってきちゃうんです。

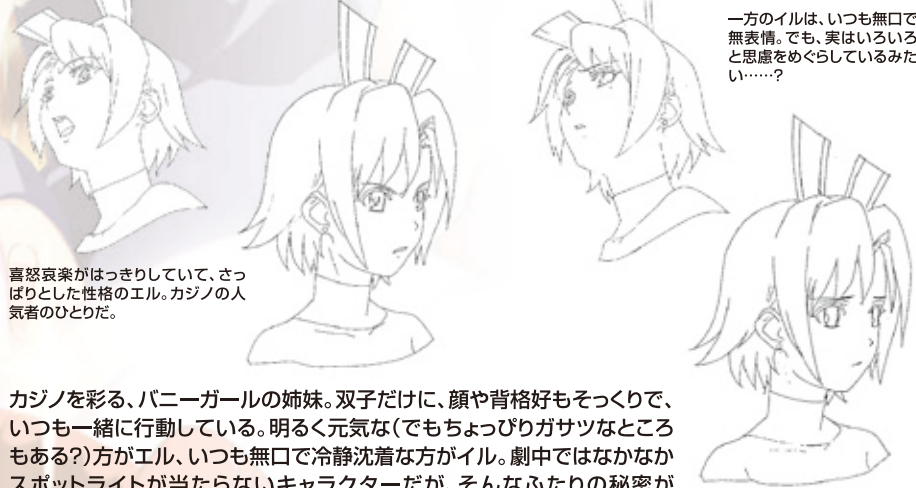
暖炉のそばにいたいような気分でボーッとされていて、フロアリーダーのティファニーに怒られたことも何度もあります。

そして、それ以上にリオには不思議なところがあるんです。

なんと、彼女がディーラーを務めると、その場の空気が和んで、お客様にラッキーなことが次々と起こるんです。スロットならジャックポット! ポーカーならロイヤルストレートフラッシュ! ブラックジャックなら21!

ね、凄いでしょ?

一方のイルは、いつも無口で無表情。でも、実はいろいろと思慮をめぐらしているみたい……?



喜怒哀楽ははっきりしていて、さっぱりとした性格のエル。カジノの人気者のひとりだ。

カジノを彩る、バニーガールの姉妹。双子だけに、顔や背格好もそっくりで、いつも一緒に行動している。明るく元気な(でもちょっぴりガサツなところもある?)方がエル、いつも無口で冷静沈着な方がイル。劇中ではなかなかスポットライトが当たらないキャラクターだが、そんなふたりの秘密がショートストーリーで明かされる!?

エル・アダムス&イル・アダムス

CV:内田 彩



エル

イル

だから彼女は「勝利の女神」なんて呼ばれて話題になって、彼女のテーブルの周りは、いつも黒山の人だかりなんです。

え、それじゃ、ディーラーとしては駄目だろうって?

うーん、私もそう思うんですけど、カジノフロア全体に設定されたペイアウト率っていう、どこまで損をしてもいいかって数字があってですね。その範囲で吸収できるなら、まあ、なんとかなるみたいなんです。もちろん、運不運の偏りがその範囲をこえて、大きくなりすぎたら問題です。幸運の秘密はリオ自身にもわからないみたいですから制御もできません。お客様に幸運を招いても、カジノに不幸を招いたら本末転倒ですよ。

で、先日、その幸運をふりまくリオにクレームをつけたお客様がいたんです。

屈強な大男?
眼光鋭いイカサマ師?
大金を盾にして無理を通そうとする嫌な成金?
……いえ、それは、品のよい小柄な老婦人でした。

エルが飲み物を運びに行った時に、少し先生に似てるかもって言ってたから、きつと優しい人なんだと思います。

そのご婦人は、リオがシューターをしていたルーレット台についていました。

雑誌の懸賞に当選してハードリゾートに招待されたらしく、カジノは初めてだったそうです。お喋りの相手を嫌な顔をせずしてくれるリオを気に入っていた様子でした。台の端の方で1ドルずつ賭けながら、ご家族の話なんかをリオとしていました。

異変が起こったのは、ご婦人が、息子さんが失業していて、生まれたばかりのお孫さんにもなかなか会えないとこぼした直後のゲームからでした。

適当に賭けていたはずの、ご婦人のベットが、36分の1の大当たりを3回連続でひきあてたんです。

先生、これって考えられない確率です。分母が36の3乗ですから46,656分の1……ってことですよ。だから、ご婦人が賭けた1枚の1ドルチップも46,656ドルに化けたってことなんです。

周囲からは歓声が湧きあがりました。リオも「お孫さんと楽しいひとときを」なんて得意げにウィンクしてみせたものです。

でも、ご婦人の「知らないわ」という一言で、その場は凍りつきました。

ご婦人は「もう一度投げてちょうだい」と、動揺するリオに次のシュートをうながすと、チップの山を無造作に、ある数字に賭けました。

——結果はハズレです。

5万ドル近くのチップが、増えた時と同じように、一瞬で煙のように消えてしまいました。

「なんでだよ! もったいない!」と、エルが隣で男の子のように叫びました。

私も、ボンリと「ない」と遅れて言うのがやっとでした。

「お客様……どうして」
顔面蒼白のリオに、老婦人は言いました。「あなたは本当に“勝利の女神”なのね。不思議なことだわ。最初は孫の誕生日に賭けたの。次は息子、3回目は亡くなった主人の誕生日だったの。そして外した最後だけはデタラメの数字」

そしてこう続けました。

「最初に当たった時は、孫に玩具の車を買えると思って喜んだわ。だけど本当の車を買えるような大金になって気がついたの。今まで積み上げてきた生活は、つましくても間違いなく私自身のもの、それを吹き飛ばしてしまうような過ぎた幸運は知らないわ。ごめんなさい。リオ」

「お客様……」
「ただ、懸賞に当たったとはいえ、こんな高級カジノに勇気を出して来たのは、自分の本当の運を試したかったから……それだけは残念ね」

勝利の女神は、下唇を噛みしめていました。幸運を拒絶されたことよりも、お客様の「自分の本当の運」という言葉に思うところがあったようです。

すると次第に周囲のざわめきが大きくなり始めました。集まった見物客たちが、口々に老婦人を非難しはじめたのです。

「なんでもったいないんだ。せっかくの幸運を無駄にしやがって!」

「何が本当の運だ! リオちゃんの幸運の力を侮辱するのは許さぞ!」

「あんたなんか勝利の女神のテーブルにつく資格なんぞは無かったんだ! リオ! 俺たちにこそ勝利と幸運をよこせ!」

喧騒はどんどん大きくなっていきます。「ちょっと待って! 皆さん! こちらのお客様は悪くないの!」

リオの叫びも、興奮したお客様の耳には届きません。

それどころかリオが生み出す強運にあやかりたいのか、彼女の身体に触ろうと男性客が波のように押し寄せてきました。

割って入った私もエルも、揉みくちゃにされてしまいました。

大きくなった騒ぎに老婦人も顔をひきつらせています。

「お待ちください! お客様方!」
スピーカーを通じて、凜と通る声が響いたのは、その時でした。

「勝利の女神もいいですけど、バニーのラッキーグラス占いはいかがですか?」

ドリンクトレイを片手に颯爽と現れたのは、フロアリーダーのティファニーでした。

元女優志望だった美貌と、真っ赤なバニー衣装に包まれた見事な肢体には、興奮していたお客様もつい惹きつけられてしまいます。

「お手元のグラスをご覧ください。まず……ワイングラスでグリーンの縁がついたものをお持ちのお客様はいらっしゃいますか?」

フロアにいた千人近くのお客様の内、2割ほどが半信半疑の表情で、ワイングラスを掲げました。

にっこりとはほ笑んだティファニーが続けます。「実は当カジノで私たちが配らせていただいている全てのグラスには“個性”があります。このバニー占いは、フロアで唯一のラッキーグラスを持ったお客様を見つけ出すものです。千人にひとりの幸運を掴んだお客様こそが、勝利の女神のテーブルにつくのにはふさわしいのではないのでしょうか?」

先ほどまで興奮していたお客様たちが、すっかり落ち着きティファニーを見つめています。

その後何回か条件が絞られていきました。グラスの口径、脚の長さ、光を透かした時

アダムス先生、さようなら



に見える色……お客様にグラスを配っていた私たちも気付いていなかったほどの微妙な違いです。

そして最後に残ったのは、なんと、あのご婦人でした。

「あっ、あのグラスを配ったのは私だよ! しかもリオのテーブルに移る前のスロットコーナーだよ」とエルが驚きの声をあげました。

「やはり、こちらのお客様は、勝利の女神とゲームを楽しむのに相応しい方だったようですね。1,000分の1の強運の持ち主ですもの。さあ、皆さん、幸運なご婦人に拍手を!」

ティファニーのアナウンスに続き、フロアは喝采に包まれました。

その晩、私はティファニーに呼び出されました。「イル、あのラッキーグラス占い……どう思った?」

私は素直に答えました。「タネ……ある?」

私の問いにティファニーはにっこりとほほ笑みました。

「そうよ、1,000分の1なんかじゃないの。特徴があるのはワイングラスだけなのよ。ほら、このフロアでは、ワイングラスをカクテルグラス代わりに使うような遊びをしているでしょう? あれは一種のマーキングなの。少し気になるお客様には、どんな飲み物だろうとワイングラスに

入れて出しちゃうのよ。ウイスキーも、サケも、ピアマね」

「……エルは?」

「ああ、私自身でなくエルが渡したグラスなのになってこと? ふふ、エルに持って行くグラスを指定したのは私だもの」

「……でも」

それでも最後の条件絞り込みは、遠目に視認できるようなものではなかったはず、という私の疑問に、ティファニーは引き締まった表情で答えました。

「後は意識の問題よ。せいぜい100やそこらの、グラスとおお客様の組み合わせを記憶できないのはプロじゃないわ。イル、貴方にもきっとできる。いつも黙っていろいろ考えているのを知っているわよ」

その後、ティファニーは私に新しい仕事を与えてくれました。

リオのテーブルで幸運を掴んで気が大きくなったお客様が、次のテーブルで失敗しないように上手く誘導するという仕事です。不意に飛び込んできた幸運は、次の不運を呼ぶかもしれないのですから。大体は、金遣いの荒いハリウッド女優と同じテーブルに連れて行って、頭を冷やさせたりします。

あと、ハードオーナーがリオにダンスショーだのマジックショーだのに無理やり出演させるのですけれど、それもペイアウト率のコントロールなのだそうです。

まあ、半分、オーナーの趣味が入ってる気もしますけれど。

さて、先生に伝えたかったのは、私がプロとして上司であるティファニーからキチンとした仕事をもらえたということです。

私もエルも、施設が無くなってからハードオーナーに引き取られました。

今までも、仕事はさせてもらっていたけれど、「可愛く笑ってればいい」的な扱いが多かったんです。先生は私たちが、将来、ちゃんとした大人になれるか心配していたでしょう? だから、今回のことをどうしても先生に伝えておきたかったんです。

今、スカイリゾートというカジノのバックヤードでこの手紙を書いています。書き終わったら紙飛行機にして、展望フロアから空に飛ばそうと思っています。

スカイリゾートは世界で一番高いところにあるカジノなので、先生がいる天国にも近いはずですよ。ふふ、きっと届きますよね。

先生、私はエルと協力して、いつの日かアダムスホームを再建したいと思っています。そして、可哀そうな名前が無い子がいたら、先生がそうしてくれたようにアダムスの名前を与えて愛してあげたいと思います。

さようなら、アダムス先生
イル・アダムス

INTERVIEW

『Rio』は楽しければなんでもアリ!

原作 監修 **原尾宏次** プロデューサー インタビュー **後篇**



インタビュー後編では、アニメ版の内容をクローズアップ! 明るく楽しい『Rio』の世界がどのように映像化されたのか、その試みについて迫ってみた!

——原尾さんはアニメ版に対してどういった関わり方をされているのでしょうか?

最初のプロットから、脚本の一言一句、デザインについてもすべてチェックさせていただいてます。あと13枚の「ゲート」というカードを全部集めることが、ストーリーの骨格になってるんですが、その「ゲート」の存在ともとの『Rio』の世界観の整合性なども、調整させていただきました。

——第1話を拝見したんですが、とても賑やかな雰囲気の商品になっていて、そのあたりも原作を大切にされているんだな、と感じました。

そうですね。「Rio」というとカジノが舞台になるわけで、大人の香りというか(笑)そういう感じになるのかな、と思われていると思うんですけど、もともとリオというのは、お客様に喜んでいただくためのキャラクターなんです。リオとその仲間たちという世界観で、お客様を楽しませるのが仕事だったりするわけで、その結果として、舞台がカジノだったんですね。その証拠に、『Rio』シリーズの2作目、3作目になると、舞台はカジノのはずなのに、やっていることはほとんどカジノの勝負じゃない(笑)。ウォータースライダーだった

り、旗揚げだったりする。そこはアニメでも踏襲していただいている、第1話はポーカーで対決するんですけども、第2話以降は、かなりトンデモな対決が待っているんです(笑)。楽しければなんでもあり、楽しいことが『Rio』の世界なんです。だから加戸監督にも「カジノはなんちゃって、でいいんです」と。例えば、最初第1話の対決はブラックジャックの予定だったんですけど、ポーカーにして欲しいって、私の方から提案させていただいたんです。だって、日本人にとってはブラックジャックよりポーカーの方が馴染み深いですよ? と。

——なるほど。あくまでも「楽しんでいただく」ことが主眼なんですね。

第1話にも、リオの足元から光の波が広がるシーンがあるんですが、あれはじつはロールルーラーという能力で、端的に言うと人心誘導技術なんです。例えば、カジノのカーペットはどことも真っ赤ですけど、あれにも理由があって、赤は目が眩しいから思わず視線を上げてしまう。そうやって、カジノの台とか機械に目を誘導してるんですけど、海外ではそういうギャンブルに関する心理学が大学で研究されている。それを個人レベルで身につけている能力を、

ロールルーラーと呼んでるんですね。リオはまだ未熟なので、幸運な方向にしか誘導できないんですけども、人の運不運をコントロールすることが、本当の目的だ……っていう裏設定があるんです(笑)。だから、表面的にはバカバカしい勝負なんですけど、じつは高度な精神戦が繰り広げられているのだ、っていう(笑)。

——あはは(笑)。でもそうしたテイストは、今回のアニメ版にも十分活かされていると思います。「Rio」の育ての親ともいえる原尾さんから見て、手応えはいかがですか?

不安だったのは、熱心な『Rio』ファンから「なにか違う」と思われることだったんですね。「アニメーションとしては素晴らしいけど……」という作品にはなってほしくなかった。もちろん、原作の『Rio』には、具体的なセリフやストーリーがあるわけじゃないんですけど、これまでお話ししてきたように『Rio』にはあらかじめしっかりとした世界観がある。それをちゃんと見せてほしい、と思っていたんですね。で、そこに関しては120パーセント達成できている。これが自分たちの考える『Rio』のアニメです。と、そう自信を持って言える作品になったと思います。

MUSIC INFORMATION

井上麻里奈(リオ)

とても元気いっぱい楽しい曲で、作品のイメージにピッタリだと思いました! 音の高低差が大きい曲だったので、慣れるまではちょっと難しかったですね。特に、サビの部分はテンションもあげつつキッチリ音にはめ込むのに苦労しました。内容はカジノのお話ですが、本来の「お客様を楽しませる」という気持ちを忘れないよう、作品作りに臨んでいます。楽しい雰囲気画面を通して皆様に伝われば嬉しいです!

たかはし智秋(リナ)

明るく楽しく、弾んだ感じの曲だったので、アニメにピッタリだなと思いました!! 印象に残ったフレーズは「アツいアツい〜♪)」という部分。文字通り「アツい」仕上がりになっていると思います。笑いあり、バトルあり、セクシーあり……と、見どころ盛りだくさんな『Rio』。オープニングを観ただけで、トリコになること間違いなしなので、みなさまぜひとも、Yo〜チェックラ〜♪

竹達彩奈(ミント)

曲を聴いた印象は「元気で可愛い曲だなあ」。『Rio』らしい、カジノっぽい雰囲気のある曲だと思います。ミントちゃんは8歳くらいの女の子なので、全体的に難しかったですね。ちょっぴり背伸びして歌わせてもらいました。去年のドラマCD、キャラクターソングから始まり、とうとうTVアニメ化!! 皆様のおかげだと思います。魅力的なキャラクターがたくさん登場しますので、楽しみにしてください!

日笠陽子(リンド)

明るくノリが良い曲なので『Rio』にぴったりだと思いました。特に詞が印象的で、とにかくポジティブ! 「急がなきゃ幸せになっちゃえ!」という詞がすごく好きです。ちょっとセリフっぽくお願いしなすと言われたので、リンドのキャラを生かせるチャンス! と思い、いろいろとやらせて頂きました。どのテイクが使われているか今から楽しみです。とても盛り上がる曲になっているので、ぜひ本編と一緒に楽しんでください!

オープニングテーマ「世界と一緒にまわろうよ!」2011.1.26 ON SALE

歌:らぶ♥ルーレッツ(リオ・ミント・リナ・リンド)
発売:コーエーエンターテインメント 販売:ユニバーサルミュージック合同会社

(通常盤) KECH-1572 定価¥1,260(税込) TVサイズのほか、カップリング曲「ふたりのルーレット」も収録。
(限定盤A) KECH-9008 価格¥1,890(税込) 2010年2月に行われたイベント「Rio Super Carnival」のうち、ライブDVD未収録のスペシャル映像DVD付き!
(限定盤B) KECH-9009/10 定価¥1,890(税込) 「世界と一緒にまわろうよ!」歌唱4キャラクターのソロバージョンが入った特典CD付き!

ULTRA-PRISM

「オーダーは、ULTRA-PRISMらしく楽しい感じ! と、わりとざっくばらんでした(笑)。見て楽しい、聴いて楽しい、一緒にトンドらもって楽しい! がULTRA-PRISMのコンセプトなので、ライブやイベントでも盛り上がるように意識しました。あと、ノリよく次回が見たい! と思わせる曲調にしなから、サビは一度聴いたら忘れられないようなメロディを心がけましたね!(小池雅也) 「リオちゃんの”みんなを明るく、ハッピーにする”パワーのようなものをすごく感じました。作品の世界観や背景を尊重しながら、ULTRA-PRISMの萌音楽プログラムに通したら……処理落ちすることなく、できちゃった感じです。これまでの『Rio』ファンの方にも、アニメで『Rio』のファンになった方にも、そしてこれから『Rio』ファンになる方にも、いろんな感じ方で楽しんでもらえると思います。レコーディング中は「前向きに☆ラッキーに☆ハッピーに! 幸運の女神を引き寄せちゃおうよ!」というイメージで歌いました。Read on chance!(リオチャンス) 未来☆来るチャンス♪ ぜひ、『Rio Rainbow Gate!』の世界と、ULTRA-PRISMのハートを感じてください☆(月宮うさぎ)

エンディングテーマ 「みらくる☆ちゃんす」 2011.1.26 ON SALE

歌:ULTRA-PRISM LHCM-1088 定価¥1,200(税込)
発売:ランティス/Mellow Head 販売:ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント



PROFILE
月宮うさぎ(ボーカル/作詞/コスチュームデザイン etc.)と小池雅也(ギター/サウンドプロデューサー)により、2009年に結成された萌えソングユニット。ウルトラキューブで契約自在の「2.5次元POP」で活動中。代表作は、TVアニメ「侵略!イカ娘」オープニングテーマ「侵略ノススメ☆」、PCゲーム「トロピカルキISS」エンディングテーマ「Star☆tin」など。

